

超長寿命蓄電池にめど

KRI、現行の5倍以上に

大阪ガスの子会社、KRI（京都市下京区）は、数々のパートナー企業と連携して、研究開発から事業化までに必要なリソースを一括提供する「蓄電エコシステム」を構築し、顧客の要望にグローバルに対応できる体制を整えた。2025年度にユーザー評価用試作サンプル品の供給を目指す。また、複

能とコンサルティング機能を併せ持つ総合的な民間受託研究会社。エネルギー・環境技術、材料技術を中心とする受託研究・分析評価を手掛ける。蓄電池については、とくに重点分野の一つとして受託研究開発事業の拡

小型セルの試作品



大に取り組んでおり、このほど、バインダーレスの超長寿命リチウムイオン電池（LIB）基盤技術の完成・目標到達にめ

2月に子会社化したエス・イー・アイ（三重県津市）の試作実証技術の活用を想定。最終的には電

どが得られた。イオンの流れが均一になるよう材料構造・電極構造を最適化することで、劣化の進行を抑えているのが特徴。25年度から10%

気自動車（EV）に搭載されている従来の30%アップの電池寿命（例えば保障16万キロ）を5倍以上にすることを目指す。

またKRIは電池・材料・分析技術者、調査専門員が連携し、蓄電池の研究開発をサポートする「ワンストップサービス」を実施してきた。顧客の要望が多様化・高度化するなか、同社単独では対応できない事案が増えてきたことから、高度分析

解析、試作実証、少量生産、データ解析・製品実装などの各分野で高い技術を有する外部企業・研究機関と連携するため蓄電エコシステムを構築した。今後、高度分析・解析は東レリサーチセンター、電極・電池・システム試作実証はエス・イー・アイなど、計測の分野では東京精密、システム運用技術の実装開発は宇部情報システムと連携していく。